

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●
「鳩ヶ谷商工会」

昭和35年に施行された商工会法にあわせ鳩ヶ谷町商工会として設立された「鳩ヶ谷商工会」。江戸時代にさかのぼる物流の拠点として栄えてきた鳩ヶ谷の経済のけん引役として、今年で設立から51年目を迎えます。理事会の下に商業部会、工業部会、建設部会、サービス部会の4部会を置き、さらに実行部隊である委員会を設け、融資や経営相談、創意工夫を凝らした特産品の開発など活力のある街づくりを目指して活動を展開しているみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。早いもので6月になりました。今月の市長のふれあい訪問は、鳩ヶ谷商工会のみなさまです。よろしく願います。初めに、この鳩ヶ谷商工会はいつ設立されたのですか。

小原 昭和10年に、商業と工業のそれぞれが組織を作り、昭和36年に一諸になり現在の形になりました。当時加入者は42人でした。

市長 現在の加入者はどのくらいですか。

小原 1千500人くらいです。

市長 4倍近くに増えているわけですね。

小原 役員は34人、その下に商業、工業、建設業、サービス業の各部会を作り活動しています。

市長 かなり早くから組織はあったのですか。

山崎 鳩ヶ谷は古い町で、織物や穀物の集積地になっていました。そのためいろいろな団体が集まって組織ができていたのだと思います。



市長 日光御成道の鳩ヶ谷宿というところで、江戸時代からにぎやかだったのですか。

小原 近隣の安行、戸塚、神根、東京の入谷あたりからも、買い物に来ていたらしいです。

市長 流通の拠点だったということですね。三八市（さんばいち）という市が開かれていたそうですが。

鈴木 市神社（いちがみしゃ）という市の祭神が鳩ヶ谷本町にあります。ここを中心に、3と8の付く日に近郷で取れた産物を持ち寄って、並べて売ったと聞いています。

市長 なるほど。だから三八市というのですか。ところで、鳩ヶ谷商工会はどのような活動をしているのですか。

田部井 基本的には、街おこしのためこの地区の魅力をアピールしています。

市長 その一環で商工まつりを開催して、もうかなり長い歴史があるという感じがします。

田部井 今年で42回目の開催になります。

市長 商業の活性化のために、商品券事業も行ってましたね。

小原 平成21年から始めました。また合併後は「きらり川口商品券」を発売し、今までも「販売額が増えたので多くの人に販売でき、ものすごく評判がよかったです」。

市長 それはよかったです。いろいろな部会がありますがどのようなことをやっていますか。

鈴木 女性だけで集まり交流を通しながら勉強会など開催し街の活性化に協力しています。

今井 和竿を使った靴べらやお菓子などの地域特産品開発事業にも取り組んでいます。

田部井 青年部は、ソース焼きうどんの開発を行ったり、7月末のビアガーデンの開催などを行っています。

市長 ソース焼うどんはB級グルメ大会にも出場してますよね。

今井 地元ソース工場と青年部が協力して研究を重ね、特製のソースを開発し、地域の特産品として始めたものです。

市長 いろいろな知恵を出し合って素晴らしいですね。これからの課題などは何かありますか。

小原 親しみのある商工会を目

指し、丁寧に会員を指導していきたいと思っています。また川口と合併したメリットも利用していきたいと考えています。

市長 どんどん利用してください。旧鳩ヶ谷、旧川口という意識をなくするのが一番大事だと思っており、そのために考えたイベントが徳川將軍の日光社参行列です。

山崎 昔、やろうと考えましたが予算的に大変でできませんでした。今回実現できることは本当に嬉しいですね。

小原 合併したからこそできることです。

市長 歴史はみんなの共有財産ですから、そこにスポットを当てることはとても意義のあることだと思っています。これから合併してよかったですといわれるよう努力していきますのでよろしく願います。今日はありがとうございました。

